

2024年4月30日
公益財団法人イオン環境財団

みちのくの大地を探検しよう！

夏休み「わくわくジオパークフェスタ」開催

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田 元也 イオン株式会社 取締役 代表執行役 会長 以下当財団）は、5月3日（金）、4日（土）の2日間、イオンモール盛岡にて「みちのくの大地を探検しよう！夏休みわくわくジオパークフェスタ」を開催します。

ジオパークは、地球科学的意義のある地質遺産や景観が、保護、教育、持続可能な開発のすべてを含んだ総合的な考え方によって管理され、一つにまとまったエリアです。当財団と日本ジオパークネットワークは、2022年、それぞれが有する人的・物的資源を活用し持続可能な社会の実現に向けて人と自然資本（地質遺産）との共生及び各ジオパーク所在の地域の発展に寄与することを目的として連携しました。

今回、ジオパークの知名度を上げ、現地への夏休み期間の誘客を目的として、クイズ&スタンプラリーで各ブースに誘導するほか、特製のジオビンゴ、リアスのホタテ積みなど、東北各地のジオパークの魅力が詰まった企画を発信します。また、あわせて当財団は「みどりの日」企画として、東北地方の里山の樹木を使ったワークショップを開催します。

今後も、いのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、様々な環境活動に取り組んでまいります。

【概要】

- ・開催日時 2024年5月3日（金）10:00～17:00
5月4日（土）10:00～17:00
- ・開催場所 イオンモール盛岡1F イーハートブ広場・イーハートブ広場横
岩手県盛岡市前潟4-7-1
- ・主催 公益財団法人イオン環境財団
日本ジオパークネットワーク（東北ブロック）
- ・出展 ジオパーク 下北（青森県）三陸（青森県・岩手県・宮城県）八峰白神（秋田県）
男鹿半島・大瀧（秋田県）鳥海山・飛鳥（山形県・秋田県）ゆざわ（秋田県）
栗駒山麓（宮城県）磐梯山（福島県）蔵王（宮城県※ジオパーク申請中）
- ・出展内容 ステージ
・ジオパーク自慢（紹介） ・ジオビンゴ大会 ・ホタテ積み大会
ワークショップ
・ホタテでオセロゲーム ・ジオVR体験 ・ポケふた塗り絵ほか
ブース
・各ジオパークや当財団によるクイズ&スタンプラリー
広場横
・ジオパークの特産品販売
・里山樹木を使ったボードづくりワークショップ

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社 名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来多様なステークホルダーの皆さまとともに万里の長城での植樹をはじめとする「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の4つの事業活動を中心に活動し、現在は持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

「植樹」

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹の累計本数は、約1,268万本（2024年2月末現在）となります。

「助成」

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額1億円の助成支援を行っています。2023年までの33年間で累計の支援は3,436団体、助成金額は31億946万円となりました。現在は、「里山 commons の再生」をテーマに、里山（里地・里川・里海・里湖）の保全と利活用を推進している団体を支援しております。

「環境教育・共同研究」

様々な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを実施しております。

大学連携では、早稲田大学、東京大学、東北大学、京都大学、千葉大学と地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムをスタートさせます。

また、日本ユネスコエコパークネットワーク、日本ジオパークネットワークとは、生物多様性や地質遺産の保全と利活用との調和による持続可能な地域社会を目指し、教育や啓発活動で連携しています。

「顕彰」

生物多様性条約事務局(The Secretariat of the Convention on Biological Diversity)と連携し、当財団の設立20周年であった2010年の「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」日本開催を契機に「The MIDORI Prize for Biodiversity 生物多様性みどり賞」を創設しました。顕著な環境活動が認められる個人を顕彰するもので、これまでに17カ国19名の個人を顕彰しています。